

国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC)
ウェブベースの情報資源利用に関する統計的測定の改訂ガイドライン
2006年10月4日
(最初のリリース 1998年11月, 2001年12月および2006年9月改訂)

世界各国の83のコンソーシアム(p.6のリスト参照)の支持を得て、この改訂はICOLCのCOUNTERプロジェクトについての従来の支持、ICOLCコミュニティのNISOの標準化利用統計ハーベストینگ・イニチアティブ(SUSHI: Standardized Usage Statistics Harvesting Initiatives)プロトコルについての新しい支持、および利用統計用標準送付フォーマットとしてのXMLへの依存を反映している。

背景

ライセンス契約による電子情報資源の利用は拡大しつづけ、場合によっては唯一の、あるいは主要なコンテンツへのアクセス手段となろう。電子的環境はWWWに見られるように、これらの資源利用の測定方法を向上させる機会を提供している。電子的環境下では、私たちはどの情報がアクセスされ、利用されているかをより正確に決定することができる。プライバシー問題や機密保持の問題に触れることなく、私たちは情報利用についての理解を劇的に高めることができる。

ICOLCに参加しているコンソーシアムは、その加盟館が契約している電子情報資源の利用情報の入手を保証する責任がある。情報プロバイダも情報に通じた顧客基盤を作るためだけでなく、サービス対象である市場をよりよく理解するために同様の情報を必要とするはずである。これらの相互の関心には、どのような電子製品提供でも不可分の要素となる一連の基本的な利用情報の要件を定義し、作成することでもっとも適切に対応することができる。これらの要件は、ベンダーが運営するウェブサイトやローカルに運用するために図書館あるいは図書館コンソーシアムに提供されるソフトウェアに適用される。情報プロバイダに、特定の電子情報資源に見合う範囲で、この最低要件以上の情報を提供することを推奨する。

ICOLC統計測定ガイドラインは、コンソーシアム管理者が効果的に責任を果たすために必要な情報を管理者に提供し、また、現在の環境で利用統計を提供するための実践的な枠組みを業者に提供することを目的としている。2001年改訂は報告すべきデータ要素を単純化し、また、機密保持、アクセス、送付およびレポートフォーマットについての管理的側面を強化した。

さらに、2003年3月にICOLCはCOUNTERプロジェクト(Counting Online Usage of Networked Electronic Resources)を支持する声明を公表した。その中で、ICOLCはCOUNTERプロジェクトが実施コードリリース1(Code of Practice (Release 1))

によって「グローバルな情報に対する信頼性、互換性、整合性のある出版社・ベンダー関連統計の発展に著しい進展をもたらしたことを心から感謝する。」と述べた。第三者機関として、ICOLCは、今まで、展開しつつある特定のソリューションに対して特定の立場をとっていない。だが、COUNTERプロジェクトの取組みは今までICOLCの「ウェブベースの情報資源利用に関する統計的測定の改訂ガイドライン」の意図と一致している。私たちは、図書館情報コミュニティでの利用のためのウェブベースの情報資源の統計測定を標準化し、使用可能にするためにCOUNTERが始めているプロセスとイニシアティブを心から支持する。ICOLCは、引き続きこれらの重要な目標に向かってCOUNTERプロジェクトとともに作業することを期待している。

1 最低要件

- ・以下に定義するデータ要素は、次の細目ごとに説明する必要がある。
- ・プロバイダのデータベースごとに
- ・機関の一連のIPアドレスまたは他の特定のデータ要素（例えば、アカウントナンバー）。機関あるいはコンソーシアムによって特定された機関名を使用。
- ・コンソーシアム全体での総計
- ・期間によって。月間を範囲の基本単位として、必要に応じて年間の総計も。ベンダーは、1時間単位で時間単位ごとの利用データのサマリーも提供する必要がある。複数月あるいはその他の期間の動的な集計も、ベンダーによる年間やその他の予め設定された期間の範囲の制約を受けずに行える必要がある。

提供すべきデータ要素は次のとおりである。

- セッション回数**（ログイン回数）は、政府関係機関や関連組織による報告の要求を満たすために提供されなければならない。ICOLCはこのような尺度の定義、集計、報告に解釈の余地があると認識している。国境のないウェブ環境では「セッション」として集計された統計は、実際に行われたセッション数をおおまかに示すだけであり、従って指標には全体として限定的な意味しかない。
- クエリー数**（質問数）は、ベンダーの情報に即した形で区分する。一つの検索は、一つの独自性のある知的営為を示している。検索フォームがサーバに送信されるか発行されたごとに、1回の検索として記録されるのが通例である。検索されたレコードの確認やブラウジングのような連続した行為や、目的とする一つの文献を分離する過程は、別個の検索にはならない。ただし、検索セットの定義パラメータが検索フォームの再発行の際や過去の検索集合の組み合わせによって修正されたり、あるいは類似の技術が使用された場合には、別個の検索となる。近接して繰り返される重複検索、ダブルクリック、またその他の意図しない利用行動をカウントしてはならない。
- メニュー選択の回数**は、ベンダーのシステムに即した形で区分する。データの表示がブラウジング（メニューの使用）によって行われるのであれば、この尺度を提供すべきである（例えば、ある電子ジャーナルサイトは検索フォームに加え、ア

ルファベット順および分野別のメニューオプションを用意している)。検索回数とアルファベット順／分野別メニュー選択を記録すべきである。

●**フルコンテンツ単位の数**は、閲覧、ダウンロード、その他の方法で利用者に提供されたもので、これらはブラウザではなくサーバで制御され、記録可能な範囲のものである。

- ・雑誌論文：ISSN とタイトルのリスト
- ・電子ブック：ISBN とタイトルのリスト
- ・レファレンス資料：資料に即した単位で（例：辞書の定義，百科事典の記事，経歴など）
- ・非文献情報：資料に即したファイル形式で（例：画像，音声，ビデオなど）

- ・アクセス拒否件数，同時最高ユーザ数，あるいはその他の指標は図書館またはコンソーシアムに適用された価格モデルに関連がある場合。

2 プライバシーと利用者の機密保持

利用者の個人情報を明らかにするような統計情報は，その利用者個人，コンソーシアムおよび加盟館の承諾を得ないでベンダーが公表し，あるいは販売してはいけない。

3 機関およびコンソーシアムの機密保持

プロバイダはコンソーシアム管理者と他の加盟館を除き，承諾を得ないで特定機関やコンソーシアムの利用統計情報を公表し，あるいは販売する権利を有しない。比較を目的とした類似機関のグルーピングの一環としての，機関あるいはコンソーシアムのデータの利用は，その機関やコンソーシアムが識別されない限り，事前の承諾を必要としない。契約上必要な場合は，情報プロバイダがコンテンツプロバイダに機関の利用データを提供してもよい。

4 統計情報へのアクセス

コンソーシアム管理者は，各ライセンス機関の利用統計情報へ単一の方法によりアクセスしなければならない。個別の参加館が他の館に利用データを公開しないように求めているのでない限り，参加館の利用統計データは他の館も入手できるべきである。前者の場合，全ての利用データをコンソーシアム全体の集約情報として報告する必要がある。

利用統計情報へのアクセスは，デフォルト設定や表示オプションやタイムアウト設置などの管理機能と完全に切り離されている必要がある。各機関の利用統計情報へのアクセスは，各機関が選択する，IP アドレス制限あるいはパスワード方式によって制御されるべきである。

5 統計情報の送付

利用統計レポートは、双方向性のウェブベースのレポートシステムを通じて、できればリアルタイムで、でも、少なくとも当該月の月末から 15 日以内に提供されなければならない。レポートの内容は、本文書の[最低]要件の項目で指示されたとおりにカスタマイズできる必要がある。情報プロバイダにグラフやチャートとしてデータを提供することも推奨する。ベンダーは過去のデータを最低 3 年間は保持しなければならない。これらのデータは、ダウンロードとローカルな操作ができる、特定の要素を持ったフラットファイル形式でも提供されるべきである。優先フォーマットは、ウェブサービス・プロトコルを介しての XML であり、NISO の標準化利用統計ハーベスティング・イニチアティブ (SUSHI: Standardized Usage Statistics Harvesting Initiatives) <http://www.niso.or/committees/SUSHI/SUSHI_comm.html> から入手可能な文書に説明がある。

6 定義

各データ項目に対して、定義および他の解説項目あるいはそのいずれか一方を用意しなければならない。

7 レポートのフォーマット (次ページ参照)

コンソーシアム、図書館、タイトルごとのサマリーフォーマットの見本を提示する。これは最低限の必要データを提示する例となるものである。それらは、このガイドラインの全項目を説明しているわけではない。ベンダーに、製品とサービスに合った追加データの提供を推奨する。

レポートフォーマットの見本

コンソーシアムメンバーレポート		
期間：2000年7月－2001年6月		
サイト：コンソーシアム XYZ		
情報源：一般定期行物		
サイト	検索数	フルテキスト記事
A 単科大学	8,476	6,799
B 単科大学	14,589	15,889
C 単科大学	24,483	22,544
A 総合大学	8,204	7,899
B 総合大学	197,930	206,779
C 総合大学	23,998	22,253
総 計	277,680	282,463

コンソーシアムデータベースレポート		
期間：2000年7月－2001年6月		
サイト：コンソーシアム XYZ		
データベース	検索数	フルテキスト記事
ビジネス情報源	207,107	160,583
教育学データベース	326,388	11,456
一般定期行物	1,154,058	1,168,495
心理学ファイル	59,456	－
総 計	1,747,009	1,340,534

雑誌タイトル利用レポート		
期間：2000年7月－2001年6月		
サイト：コンソーシアム XYZ		
情報源：一般定期行物		
雑誌名	ISSN	フルテキスト記事
American calendars	12345689	245
Beautiful vacations	23458900	34,890
Journal of typing	34259085	3,452
総 計		38,587

各機関のデータベースレポート		
期間：2000年7月－2001年6月		
サイト：地域短期大学 A		
データベース	検索数	フルテキスト記事
ビジネスデータベース	2,565	3,059
総合データベース	29,567	55,130
看護学データベース	1,310	296
動物学データベース	897	－
総 計	34,339	58,485

これらのレポートフォーマットは、最低限の必要データを提示する例となるものである。それらは、このガイドラインの全項目を説明しているわけではない。バンダーに、製品とサービスに合った追加データの提供を推奨する。

本声明の採択者

本声明は、大筋において ICOLC 参加機関の代表者によって採択された。その機関名は以下に列挙したとおりである。本声明は以下の各コンソーシアムの公式見解を必ずしも代表するものではない。

代表者が本声明を採択した 2006 年 9 月 29 日現在のリスト :

Academic Libraries of Indiana (ALI) (USA)
The Alberta Library (Canada)
ALICE (Adventist Libraries Information Cooperative) (International)
Amigos Library Services (USA)
ANKOS (Anatolian University Library Consortium) (Turkey)
ASERL (USA)
国立大学図書館協会 (Association of National University Libraries: ANUL) (Japan)
AULC (Arizona Universities Library Consortium) (USA)
ARKLink (USA)
Bibliographical Center for Research (BCR) (USA and Canada)
BIBSAM Sweden: Consortium of Research Libraries (Sweden)
British Columbia Electronic Library Network (Canada)
California Digital Library (USA)
California State University - SEIR (Systemwide Electronic Information Resources) (USA)
Canadian Research Knowledge Network
Cape Library Consortium (CALICO) (South Africa)
CAUL (Council of Australian University Librarians) (Australia)
CBUC-Consorci de Biblioteques Universitaries de Catalunya / Consortium of Academic Libraries of Catalonia (Spain)
Chesapeake Information & Research Library Alliance (CIRLA) (USA)
CIC Center for Library Initiatives (USA)
College Center for Library Automation (CCLA) (USA)
Colorado Alliance of Research Libraries (CARL) (USA)
Colorado State Library (USA)
Cooperating Libraries in Consortium (USA)
Coordinamento Interuniversitario Basi dati & Editoria in Rete (CIBER) (Italy)
Consortium of Academic and Research Libraries in Illinois (CARLI)
Council of Atlantic University Libraries (Canada)
Council of Federal Libraries Consortium (Canada)
Council of Prairie and Pacific University Libraries (COPPUL) (Canada)
CREPUQ (Sub-Committee on Libraries of the Conference of Rectors and Principals of

Universities of Quebec) (Canada)
Danish Electronic Research Library (DEFL) (Denmark)
Fenway Library Consortium (USA)
FinELib (Finland)
Florida Center for Library Automation (USA)
GALILEO (USA)
Greater Western Library Alliance (USA)
HEAL-Link (Hellenic Academic Libraries Link) (Greece)
INCOLSA (USA)
JISC (Joint Information Systems Committee) (United Kingdom)
Kentucky Virtual Library (USA)
KLN (Keystone Library Network) (USA)
LOUIS (The Louisiana Library Network) (USA)
Maine Info Net Consortium (USA)
MALMAD - Israel Center for Digital Information Services (Israel)
Michigan Library Consortium (USA)
MINITEX Library Information Network (USA)
MOBIUS:Linking Missouri's Academic Libraries (USA)
NC LIVE (North Carolina Libraries for Virtual Education) (USA)
NEFLIN (USA)
NELINET, Inc (USA)
NEOS Library Consortium (Canada)
NERL (NorthEast Research Libraries Consortium) (USA)
Network of Alabama Academic Libraries (USA)
Nevada Council of Academic Libraries (USA)
New England Law Library Consortium (NELLCO) (USA)
Novanet (Canada)
NYLINK (USA)
OhioLINK (USA)
Ontario Colleges Bibliocentre (USA)
Ontario Council of University Libraries (OCUL) (Canada)
Orbis-Cascade (USA)
PALINET (USA)
Pioneer, Utah's Online Library (USA)
PALCI (USA)
QULOC (Queensland University Libraries Office of Cooperation) (Australia)
RBT, Norway: National Office for Research Documentation, Academic and Special Libraries (Norway)
SCELC (USA)
SCONUL (Society of College, National & University Libraries) (United Kingdom and

Ireland)
SOLINET (Southeastern Library Network) (USA)
Southeastern Wisconsin Information Technology Exchange (SWITCH) (USA)
SUNYConnect (USA)
TENN-SHARE (USA)
TexShare (USA)
Triangle Research Libraries Network (USA)
UKB (Dutch Association of University Libraries, Royal Library and Library of the Royal Academy of Science) (Netherlands)
University of Texas System Digital Library (USA)
Utah Academic Library Consortium (USA)
Virtual Academic Library Environment in NJ (VALE) (USA)
VIVA (The Virtual Library of Virginia) (USA)
VOWB (Vlaams Overlegorgaan Wetenschappelijk bibliotheekwerk vzw) (Belgium)
Washington Cooperative Library Project (USA)
WiLS (Wisconsin Library Services) (USA)
WRLC (Washington Research Library Consortium) (USA)

国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC) について

国際図書館コンソーシアム連合 (ICOLC) の創設は 1996 年にさかのぼる。この連合体は、図書館コンソーシアムの国際的な非公式団体であり、そのメンバーは北米、南米、ヨーロッパ、オーストラリア、アジアおよびアフリカのほぼ 200 の図書館コンソーシアムから構成されている。メンバーを構成するコンソーシアムはあらゆる種類と規模の図書館を対象とする。ICOLC は、コンソーシアム間の共通の利害にかかわる問題について議論する場を提供するとともに、北米で年 1 回、ヨーロッパで年 1 回会合を開いている。ICOLC は、電子情報資源に関する情報や電子出版業者および電子情報ベンダーの価格設定方針やコンソーシアムの責任者や運営組織にとって重要性のあるそれ以外の問題に関する情報を常にメンバーに周知するために設けられている。ICOLC はまた、情報プロバイダのコミュニティとも会合を持ち、提供製品や相互に関心のある問題について議論している。

ICOLC に関するより詳細な情報は次のウェブサイト：
<http://www.library.yale.edu/consortia> か、Tom Sanville, Executive Director, OhioLink, Suite 300, 2455 North Star Road, Columbus, OH 43221, Phone: 614-728-3600, ext. 322; tom@ohiolink.edu への連絡により入手できる。

このガイドラインについてのより詳細な情報の紹介先：

Kathy Perry, Director, VIVA (The Virtual Library of Virginia), MSC 2FL, c/o George Mason University, Fairfax, VA 22030-4444, Phone: 703.993.4652; kperry@gmu.edu.